

基本的な学習内容 ⑨

1年 氏名（ ）

【貴族社会の発展 ③】（教科書P38～39）

① 遣唐使として唐に渡って仏教を学び、帰国後、
ひえいざん
比叡山に寺院を建てた人物は誰か。

①

② ①の人物が比叡山に建てた寺院の名前は何か。

②

寺

③ ①の人物が開いた宗派は何か。

③

宗

④ 遣唐使として唐に渡って仏教を学び、帰国後、
こうやさん
高野山に寺院を建てた人物は誰か

④

⑤ ④の人物が高野山に建てた寺院の名前は何か。

⑤

寺

⑥ ④の人物が開いた宗派は何か。

⑥

宗

⑦ ④の人物は、“三筆”^{さんびつ}の一人で、書道が大変上手かったと言われている。その④の人物に関して、「どんな達人でも、失敗することがある」という意味のことわざは何か。

⑧ 894年に遣唐使が廃止となってからは、日本独特の文化が発達した。この文化は何か。

⑧ 文化

⑨ ⑧の文化の中で、自然の風景を庭園に表した貴族の住居を何というか。

⑨

⑩ ⑧の文化の中で、日本語を音声通りに表す文字が発達した。これをまとめて何というか

⑩ 文字

⑪ ⑩の発達によって文学が盛んになった。そのうち、紫式部によって表された長編の物語は何か。

⑪

⑫ この頃に著された、「春はあけぼの」で始まる随筆は何か。

⑫

⑬ ⑫の随筆を書いた人物は誰か。

⑬

⑭ 紀貫之らによってまとめられた和歌集は何か。

⑭

⑮ 社会が不安定となった10世紀に、念仏を唱えれば極楽浄土に生まれ変われるという教えが広まった。これを何というか。

⑮

⑯ ⑮の教えが広がる中で、藤原頼通は下の建物を建てた。これは何か。

⑯

